

2021 年度 全国通訳案内士試験

第 1 次試験 日本歴史

本試験

解答・解説

100 満点中、70 点得点で合格圏内

※ 本試験問題は著作権で保護されているため、本解答・解説には本試験問題は一部引用部分を除いて掲載してありません。また、この解答・解説を使った授業においても、画面上に表示することはできません。お読みになる際、また、授業をお受けになる際には、皆様がお持ち帰りになった問題を手元にご用意ください。

解答一覧（問題番号はマークシートの番号です。）

- 1 ②
- 2 ①
- 3 ②
- 4 ②
- 5 ①
- 6 ③
- 7 ①
- 8 ④
- 9 ③
- 10 ④
- 11 ①
- 12 ②
- 13 ②
- 14 ②
- 15 ④
- 16 ④
- 17 ①
- 18 ④
- 19 ②
- 20 ④
- 21 ②
- 22 ②
- 23 ②
- 24 ③
- 25 ③
- 26 ①
- 27 ③
- 28 ③
- 29 ④
- 30 ②
- 31 ③
- 32 ③

【難易度】

⇒ 全体的に中。

【予想合格点】

⇒ ガイドライン通り 70 点か。

【問題傾向】

日本地理と日本歴史は年度によって難易度の変動が大きく、受験生の不安要素の一つとなっているが、昨年のようなトリビア的な問題はほとんど見られず、2021 年度の問題は全体的に解きやすかったようだ。また選択肢も 2～4 つの要素の組み合わせから成るものもあり、1 つが分からなくても他の語句から判断できるため、正答率は高かっただろう。問題数は 2020 年の約 40 題から 32 題へ減少となり、試験時間も 40 分から 30 分に短くなったが、問題量と試験時間の割合としては無理なく解ける範囲であったと思われる。

従来、多くを占めていた写真問題がたったの 2 問になっているが、ガイドラインでも、かつて「地図や写真を使った問題を中心とする」から、「地図や写真を使った問題も含まれるものとする」へと文言が変更されている。それにしても写真 2 つのみというのは極端な気がする。かといって、ビジュアル要素を準備しなくてよいというわけではなく、どのような歴史項目も、地図や写真の知識がないと文字だけでは到底覚えきれものではない。また年度によっていつ写真や地図が多用されるかも知れないので、地図・写真といったビジュアル知識は試験合格には「必須」と考えた方がよい。

問題の内容としては、基本的な歴史知識、それを応用した政治史、外交史、文化史などがバランスよくカバーされている。難易度としては半年～1 年、コツコツと学習すれば高得点を取れる内容になっており、事実、CEL で使用した「日本歴史 基本テキスト」および「観光地一覧 地図テキスト」だけでも 9 割以上をカバーできている（正解の後の★）。毎年傾向や難易度が大幅に変わるものの、やはり欠かせないのは「基本」、および、それらをもとにした「応用練習」ということに尽きるだろう。

1 ② **大宰府**★

⇒「遠の朝廷」が最大のヒント。陸奥の鎮守府や諸国の国衙を含め、都から遠く離れた地にある官府を指す語だが、特に、大宰府を指す。① **摂津職**は飛鳥～奈良時代に摂津国に設置された行政機関。③ **弾正台**は律令制において監察・治安維持のために置かれた八省の一つ。④ **鎮西奉行**は鎌倉幕府が九州の御家人の指揮統制を行うために置いた職。

2 ① **坂上田村麻呂**★

⇒② **藤原清衡**は奥州藤原氏の初代当主。③ **文室綿麻呂**は平安時代初期の公卿・武将、④ **源義家**は平安時代後期の武将で **源頼朝**の祖先。

3 ② a『**続日本紀**』 b **金峯山寺**★

⇒ a の **六国史**のどれにあたるかは難しいが、世界遺産に含まれるのは、① **金峯山寺**と④ **青岸渡寺**。そのうち **吉野**にあるものを選べばよい。

4 ② a **北陸道** b **引付** c **日蓮**★

⇒ a は迷うかもしれないが、b と c は明白。

5 ① a **平重衡** b **重源**★

⇒ 本試験直前の模擬試験で両者に関する問題を出しておいた。b **重源**は国宝の木造彫刻「**重源上人坐像**」が有名。②、③、④の b はすべて奈良仏教を鎌倉時代に改革した僧で、**貞慶**は法相宗を、**忍性**は律宗（真言律宗）を、**明恵**は華嚴宗を中興した。

6 ③ a **大山祇神社** b **一遍**★

⇒ a は難しいが、b が明白。大山祇神社は **三島神社**や大山祇神社の総本社で **大三島**に所在する。① b **叡尊**は真言律宗を興した奈良仏教の改革者で、弟子に **忍性**がいる。② b **道元**は曹洞宗の開祖、④ b **法然**は浄土宗の開祖。

7 ① a『**愚管抄**』 b『**菟玖波集**』★

⇒ a は基本知識だが、b がやや高度。② a『**蜻蛉日記**』は藤原道綱母の日記、② b『**水無瀬三吟百韻**』は室町時代の **宗祇**とその弟子2人による **連歌**。③ a『**土訓抄**』は鎌倉中期の教訓説話集。③ b『**樵談治要**』は室町時代の公卿・学者の **一条兼良**の政道意見書。④ a『**東関紀行**』は鎌倉時代の紀行文で作者不詳。④ b『**職原抄**』は中世の公卿の **北畠親房**が著した **有職故実書**。

- 8 ④ a ^{りんざい}臨濟宗 b 大内氏 c 明 d ^{しゅうとうさんすいず}秋冬山水図★
⇒ a は初級、それ以外は中級程度の知識。d については、①『四季山水図』、②『^{ほうかけいさんすいず}傲夏珪山水図』、④『^{しゅうとうさんすいず}秋冬山水図』が雪舟の作品。②は80余年行方不明だったが2017年に発見されたもので、雪舟作の『^{うわがたほうこず}団扇形傲古図』シリーズ12点中の1点で、現在同シリーズのうち6点が確認されている。③d『^{しょうりんずびょうぶ}松林図屏風』は長谷川等伯の作品。
- 9 ③ a 今川氏 b 小田原城★
⇒ a は駿河国守護がヒント。b は北条氏の本拠地で、秀吉の小田原征伐からも明白。
- 10 ④ a 五奉行 b 五大老 c 西軍 d 東軍★
⇒ 五奉行は^{あきのながまさ}浅野長政・^{まえだげんい}前田玄以・^{いしだみつなり}石田三成・^{ましたながもり}増田長盛・^{ながつかまさいえ}長束正家の5人、五大老は^{とくがわいえやす}徳川家康・^{まえだとしいえ}前田利家・^{うえすぎかげかつ}上杉景勝・^{うきたひでいえ}宇喜多秀家・^{もうりもとなり}毛利輝元の5人。
- 11 ①★
⇒ ②は、1年ごとに江戸と領地に交互に住むことになるため、江戸との往復は2年に1度となる。③は、^{きつまつ}薩摩など遠方の大名は海路も用いた。④は、江戸住みが強いられたのは大名の正妻と子女。
- 12 ② ^{にじょうじょう}二条城★
⇒ ①^{ふしみ}伏見(桃山)城は^{とよとみひでよし}豊臣秀吉が隠居後の住まいとして築城した城。③^{じゅらくだい}聚楽第は豊臣秀吉が京都に造営した城郭風の邸宅。④京都御所は平安京遷都から明治維新まで天皇が居住した施設。
- 13 ② ^{とくがわつなよし}徳川綱吉「^{しょうるいあわれ}生類憐みの令」の発令★
⇒ ①最初の^{ぶけしよはつと}武家諸法度(元和令)(1615)の発布は2代将軍^{ひでただ}秀忠の時代。③^{てんめい}天明の大飢饉(1782-87)、^{あさまやま}浅間山噴火(1783)はいわゆる^{たぬま}田沼時代で10代将軍^{いえはる}家治の時代。④日米修好通商条約締結(1858)の時点では13代将軍^{いえさだ}家定が存命していたが、その直後に死去し、同条約の批准書には14代将軍^{いえもち}家茂の署名がある。
- 14 ② ウィリアム・アダムズ★
⇒ アダムズは^{みうら}三浦の領地を与えられ、和名^{みうらあんじん}三浦按針を名乗った。①ドン・ロドリゴは江戸時代初期に遭難して日本に漂着したスペインのフィリピン臨時総督で、日本に滞在した約1年間の記録である『ドン・ロドリゴ日本見聞録』を残した。③^{やまだながまさ}山田長政は江戸時代前期にシヤム(現在のタイ)の日本人町を中心に東南アジアで活躍した人物で、アユタヤでリゴール王に封じられたが、毒殺された。④リチャード・コックスは平戸に置かれたイギリス商館の商館長で『イギリス商館長日記』を残している。

15 ④イギリス★

⇒ 平戸にはポルトガル船やスペイン（イスパニア）船も来航したが、商館を置いたのはオランダとイギリスのみ。

16 ④★

⇒ ①キリスト教徒ではない中国人は長崎市内に雑居することを許されていたが、後に居住地が制限され、現在の長崎市館内町に唐人屋敷が形成された。開国後唐人屋敷は閉鎖・焼失し、在住中国人は隣接の長崎市新地町に中華街を形成し、現在の長崎新地中華街となった。②出島は人工島。③出島全体は1922年に「出島和蘭商館跡」として国の史跡に指定され、現在も修復・復元作業が続いており、数多くの建物が復元されている。

17 ①オランダ・ロシア・イギリス・フランス★

⇒ これらの条約を総称して安政五カ国条約と呼ぶが、ドイツや清国は5カ国に含まれない。

18 ④新潟★

⇒ 日米和親条約において1854年に下田と箱館が開港され、日米修好通商条約において、箱館に加え（下田は閉鎖）、横浜、長崎が開港され、続いて新潟、神戸が開港された。一方、江戸、大坂では開市が予定されていた。

19 ②鍋島直正★

⇒ ①毛利敬親は長州藩13代藩主で長州藩を幕末の雄藩に発展させた。③島津斉彬は薩摩藩11代藩主で集成館事業などを通じて富国強兵や殖産興業を進めた名君。④山内豊信は土佐藩15代藩主で藩政改革を断行し、幕末の四賢侯の一人に数えられる。隠居後は容堂を名乗り、徳川慶喜に大政奉還を進言した。

20 ④江藤新平★

⇒ 選択肢は全て肥前国の出身者。①大隈重信は内閣総理大臣や外務大臣を歴任し、東京専門学校（現・早稲田大学）を創設した。②副島種臣は明治政府の重鎮の1人で、漢詩人・能書家としても業績を残した。③佐野常民は日本赤十字社の創始者で「佐賀の七賢人」の1人とされる。

21 ②錦旗

⇒ 難問。Wikipedia「錦の御旗」(<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%8C%A6%E3%81%AE%E5%BE%A1%E6%97%97>)より引用：「1868年（慶応4年）正月、鳥羽・伏見の戦いにおいて、薩摩藩の本営であった東寺に錦旗が掲げられた。この錦旗は、慶応3年10月6日に薩摩藩の大久保利通と長州藩の品川弥二郎が、…岩倉具視に委嘱された物であった。…その後、鳥羽・伏見の戦いが始まると、朝廷は征討大將軍・仁和寺宮嘉彰親王に錦旗と節刀を与えた。」

22 ②★

⇒ 榎本武揚は降伏後、投獄されていたが盟友黒田清隆などの働きかけによって赦免され、明治政府で活躍した。③はオランダへの留学経験がある。④は幕府海軍の指揮官を務めていた。

23 ②西廻り航路★

⇒ 西廻り航路は松前→酒田→佐渡→能登→但馬→温泉津→下関→大坂→伊勢→伊豆→江戸というルートを通っていた。これに対し、酒田から北上し、津軽海峡を渡り、太平洋沿岸を南下してくるのが東廻り航路である。いずれも河村瑞賢が開発した。北前船という呼称は「北廻り船」あるいは「北前（日本海）を航行する船」という意味から来ているらしい。

24 ③開拓使★

⇒ 開拓使は北方開拓のために1869年から1882年まで置かれた日本の官庁。①北海道庁は1886年に設置された。②北海道事業管理局は開拓使廃止に伴い、函館県・④札幌県・根室県とともに設置されたが、3県と事業管理局は北海道庁設置に伴って廃止された。

25 ③新渡戸稲造★

⇒ ③新渡戸稲造は国際連盟事務次長を務め、英語著書『武士道』を著したことで知られる。他選択肢も現在の岩手県出身者。①石川啄木は詩人・歌人、②宮沢賢治は現在の岩手県花巻市出身の詩人・童話作家、④原敬は現在の岩手県盛岡市出身の外交官・政治家。

26 ①伊藤博文 下関条約調印★

⇒ 下関条約(1895)は日清戦争(1894)の講和条約で、調印者は、日本側全権が伊藤博文・陸奥宗光、清国側全権が李鴻章・李経方で、山口県下関市の料亭春帆楼での講和会議を経て締結された。②日英同盟協約調印は第1次桂太郎内閣、③シーメンス事件は第1次山本権兵衛内閣、シベリア出兵の開始は寺内正毅内閣。選択肢人物は全て内閣総理大臣経験者。

27 ③ドイツ★

⇒ 伊藤博文は欧州派遣で、シュタイン、グナイストらからドイツ流の憲法理論を学び、憲法草案はドイツ人顧問ロエスレルの助言を得て、伊藤博文・井上毅らが中心となって作成した。

28 ③ボアソナード★

⇒ ①グナイストはドイツの法学者、②モッセはドイツの法律家、④クラーク(ウィリアム・スミス・クラーク)は札幌農学校初代教頭で、Boys, be ambitious.の言葉を残したことで知られる。

29 ④プロレタリア★

⇒ ①自然主義は日露戦争前後で、国木田独歩、島崎藤村などが有名。②写実主義は明治18年～20年代前半で、坪内逍遙、二葉亭四迷などが代表。③モダニズムは1920年代に世界的に起こった前衛的な芸術志向を指す。

30 ②「太陽のない街」★

⇒ 選択肢はいずれもプロレタリア文学作家の作品。①「貧しき人々の群」は宮本百合子の1916年の作品。③「土」は長塚節の1912年の作品。④「私の東京地図」は佐多稲子の1949年の作品。

31 ③旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）

⇒ 写真が唯一のヒント。①東京国立博物館表慶館、②京都国立博物館旧本館（明治古都館）、③旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）の三件は、32番選択肢③片山東熊の設計、④京都迎賓館は日建設計の手による。

32 ③片山東熊

⇒ ①ジョサイア・コンドルはイギリスの建築家でお雇い外国人として明治以後の日本建築界の基礎を築いた。現存していないが、鹿鳴館を設計したことで知られる。現存建物としては、東京都千代田区のニコライ堂、東京都台東区の旧岩崎家住宅が有名。②辰野金吾は①コンドルの弟子で、中央停車場（東京駅丸の内駅舎）の設計で知られる。③片山東熊もコンドルの弟子である。④妻木頼黄もコンドルに学び、②辰野金吾の後輩にあたり、旧丸三麦酒醸造工場（現・半田赤レンガ建物）の設計で知られる。



〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-14-5 サンエスビル 2F

TEL 03-5291-1820 FAX 03-5291-1821

<https://www.cel-eigo.com>

授業教材および授業内容（音声・映像など）の著作権は全て CEL 英語ソリューションズ™に帰属します。
著作者の許可なしに複製・印刷を行うこと、および、教材や授業ビデオのダウンロード元 URL を第三者に伝達・
開示することを禁止します。